

科目名	倫理		履修学年	第2学年	
			履修形態	選択	
			履修単位	2単位	
使用教科書 (出版社)	倫理（東京書籍）				
使用教材 (出版社)	倫理ワークノート（東京書籍）				
学習の目標					
人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格形成への意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を図り、良識ある公民として必要な能力と態度を育む。					
教科担当者から					
倫理では、「よりよい生き方」とは何か、自分とは何か、人間とは何かという問いにまで突きつめて考えます。青年期の課題や、ソクラテス・プラトン・孔子といった先哲の思想、キリスト教・イスラム教・仏教を中心とした宗教、日本の伝統思想、ルター、カント、ヘーゲル、マルクス、ニーチェなどの近代思想、そして生命倫理、環境倫理など現代社会の問題に至るまで様々な事柄について学び、考えていきます。知識を身に付けると同時に、様々な考え方に触れつつ皆さんの考えがどう変化し、どう深まったかを重視します。					
評価の観点・方法・割合					
観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解	
規準	人間尊重の精神と自己形成について関心を高め、人格の形成と生きる主体としての自己の確立への意欲を持つとともに、これらに関わる諸課題を探究する態度を身に付け、人間としての在り方について自覚を深める。	生きる主体としての自己の確立について広く課題を模索し、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し、探求するとともに、良識ある公民として広い視野に立って公正に判断する。	青年期における自己形成や人間としての在り方などに関する資料をさまざまなメディアを通して収集し、有用な情報を選択して、これらを自己形成に向けて活用するとともに、考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関わる基本的な事項について理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。	
方法	※ ◎は観点の中でより重視するところです。				
観察	◎				
ノート	◎	○			
課題	○	◎	◎	○	
小テスト		○		◎	
考査		○	○	◎	
割合	10%	20%	20%	50%	
評価の基準 ※ 満点を100点としたとき					
5	4	3	2	1	
100点～85点程度	84点～65点程度	64点～45点程度	44点～30点程度	30点未満	

学習内容									
学期	月	単元名／学習内容	学習のねらい	評価の観点				時間	
				関	思	資	知		
前期	4～5	第1章 青年期の課題と自己形成	青年期の特徴について考え、青年期特有の課題であるモラトリアムとしての時期、アイデンティティの確立、自己実現の追求などについて意見を交換しながら学ぶ。						
		1 青年期の意義				○		5	
		2 青年期の課題と生き方			○			5	
		5～7	第2章 人間としての自覚	ギリシア思想（ソクラテス、プラトン、アリストテレス等）、儒家・老荘思想（孔子、孟子、老子、荘子）、について理解を深める。					
	1 人間とは何か						○	1	
	2 ギリシャの思想			○			4		
	3 キリスト教			○			3		
	4 イスラーム				○		2		
	5 仏教			○			3		
	6 中国の思想		宗教が人間にとってどのような意味を持つものであるかを考え、世界三大宗教の基本的な考え方を理解する。			○	3		
	7 芸術と人間				○		2		
	(含：前期中間考査)								
	8～9	第3章 国際社会に生きる日本人の自覚	日本人の宗教観や倫理観について学ぶ。また、戦後における日本人の思想の根幹には何があったか考察する。						
		1 日本人の精神風土			○			3	
		2 外来思想と日本の伝統思想			○			5	
		3 西洋思想と日本人の近代化					○	4	
	4 国際社会に生きる日本人の自覚		○			3			
	(含：前期期末考査)								
後期	10～1	第4章 現代を生きる人間の倫理	人間の尊厳や「人間らしさ」とはどのように認められてきたのか、民主社会の成り立ちとともに人類の歴史の変遷を辿りながら考察し、現代における人間観を捉える。						
		1 現代とはどういう時代か			○			1	
		2 人間の尊厳			○			5	
		3 民主社会の倫理					○	4	
		4 新たな人間像の模索					○	4	
		5 自然や科学技術と人間とのかかわり			○			3	
		6 民主社会の成熟のために		○			3		
		(含：後期中間考査)							
	1～3	第5章 現代の課題を考える	現代社会の課題を倫理的な側面から考え、これから我々がどう生きるべきかについて議論し、考察を深める。						
		1 生命				○		1	
		2 家族			○			1	
		3 地域社会			○			1	
		4 情報社会			○			1	
		5 文化と宗教			○			1	
		6 環境			○			1	
		7 国際平和と人類の福祉			○			1	
(含：後期期末考査)									
								70	